

| | | |
|------------------------------|--|----------------------------|
| 6-2 | コロナで今年の就職は？ | 所属 千葉県立松戸向陽高等学校 氏名 大倉泰裕 |
| 資料名 | 日本経済新聞 「5月失業率 3.0%、0.2ポイント悪化 有効求人倍率は横ばい」(2021年6月29日) https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA284QW0Y1A620C2000000/ | |
| 資料内容 | ○ コロナウイルスの蔓延した時期の完全失業率と有効求人倍率の推移から、現在の状況をグラフから読み解く。 | |
| 教科書等との関連 | 中学校公民的分野 職業の意義 高等学校公民科 雇用と労働問題 景気変動 | |
| キーワード | コロナ 雇用 労働 市場経済 需要と供給 景気変動 | |
| ねらい | ◆コロナの蔓延が景気にどのような影響を与えたのか、また人との接触を減らすことがどのような産業にどのような影響を与えているのかという考察を通して、業種ごとの状況や今後成長が見込めたり、新たに生まれたりする業種について考察する。 | |
| 活用場面 あるいは 授業プラン の概略 | <p>発問 「このグラフから、今の雇用状況、そして今年の高卒の就職状況はどうなるだろうか？ その中でどのような活動をすれば、自分の希望は達成できるのだろうか？」</p> <p>解説 今年の高校生の就職状況は、昨年も厳しかったがそれ以上に大変厳しい状況が予想される。 (高卒求人性格上、完全失業率や有効求人倍率と完全に連動しているとはいえないが労働市場の動向を読み解く手がかりにはなる。) また感染症対策として人流を減らすという視点から考えるとすべての業種で採用が減少ということにはならない。これらを踏まえた上で、業種ごと、職種ごとに労働市場の需給関係について考察させる。</p> <p>①今後の労働市場を考える このような状況下で需要が増大するもの(業種・職種)は何か その理由は何か 変化しないもの(業種・職種)は何か その理由は何か 減少するもの(業種・職種)は何か その理由は何か</p> <p>②コロナ下の生活の中から新たに生み出される産業(業種)は何か コロナ下の生活の中でライフスタイルが変化することにより、今後成長が期待できる分野(業種)は何が考えられるか。</p> | |
| 備考 | できれば今年の高卒求人数について学校に届いている求人票数や各企業の求人数などを昨年度の求人票と比較してみると良い。 | |